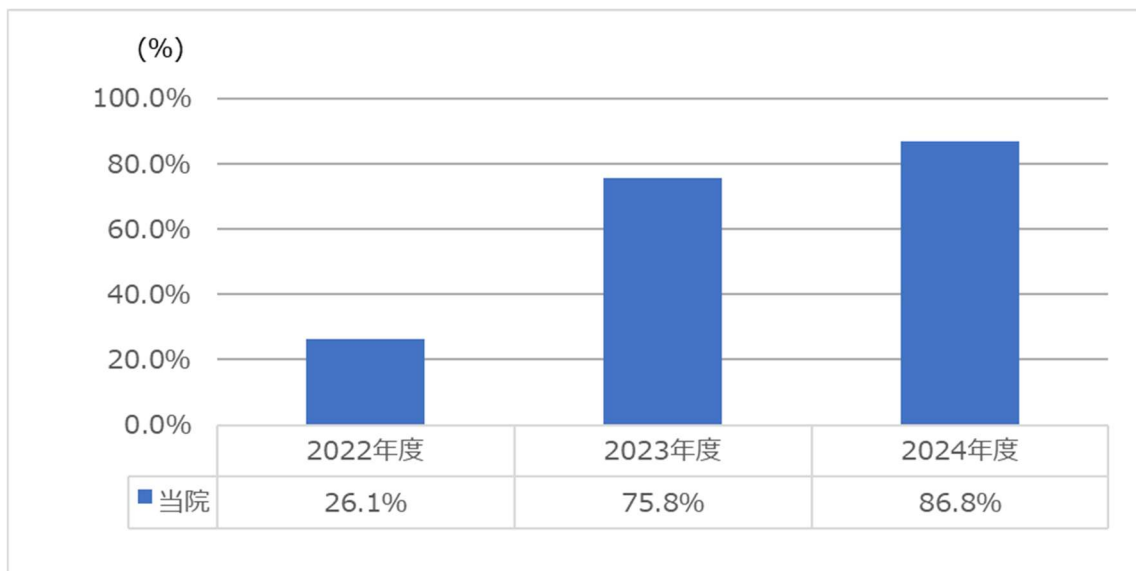


指標24 大腸癌の低侵襲手術におけるロボット支援手術（ダヴィンチ）の使用率



<定義>

分子	分母のうち、内視鏡支援機器(ダヴィンチ)を使用した症例数
分母	大腸癌の腹腔鏡下手術(下記別表1に示す手術)を実施した症例数
期間	2022年度～2024年度(1年毎に集計)
対象	上記期間の症例

別表1

番号	Kコード	枝番	手術名1	手術名2
1	K719-3		腹腔鏡下結腸悪性腫瘍切除術	
2	K740-2	1	腹腔鏡下直腸切除・切断術	切除術
3	K740-2	2	腹腔鏡下直腸切除・切断術	低位前方切除術
4	K740-2	3	腹腔鏡下直腸切除・切断術	超低位前方切除術
5	K740-2	4	腹腔鏡下直腸切除・切断術	経肛門吻合を伴う切除術
6	K740-2	5	腹腔鏡下直腸切除・切断術	切断術

<解説>

当院では、大腸癌の患者さん個々に合わせて根治性(癌を治す)と安全性、低侵襲性(身体への負担が少ない)を重視した腹腔鏡手術に取り組んできましたが、近年、さらに低侵襲性を考慮した最新の医療技術であるロボット支援手術に積極的に取り組んでいます。ロボット支援下の回盲部切除術、S状結腸切除術や高難度手術と言われる右半結腸切除術、横行結腸切除術、下行結腸切除術、直腸切除術、直腸切断術など様々な術式を採用し、症例によっては進行癌に対する術前化学(放射線)療法後のロボット支援手術も行っています。九州でも有数な手術件数を誇っております。

※ 本データは当院で収集したデータを基に作成しています。